

市政を問う

20人が一般質問



一般質問は、質問順に記載する予定でしたが、写真があるところと、無いところがあり、紙面づくりの都合上、順序をかえる場合があります。

一般質問は要点だけをまとめたものです。全体を知りたい方は、議事録が各町図書館にありますのでご覧下さい。(この掲載部分につきましては、6月に設置する予定です。)

明石 壽彦 議員



スリムな行政組織を

問 本市の財政は地方交付税の減額、長

引く景気の低迷で市税の増加は見込めず、財政状況は年々厳しくなっている。

く。むだを省きスリムな行政組織にするための施設の民間委託民営化、指定管理者制度に対する市長の取り組みは。

答

(江里口市長)

スリムな行政組織にするため民間委託についての取り組みは、行政みずからが担う役割を重点化し、市民団体をはじめ地域の多様な主体と協働をしていくことが必要であると考えている。

問

幼稚園、保育園を民間委託する考えは、また経営が厳しい市民病院の民営化は。

答

(江里口市長)

保育園は保育園のあり方に関する庁内検討委員会を立ち上げて検討している。幼稚園についても幼児保育及び幼稚園のあり方に関する検討会を十八年度に庁内で立ち上げている。市民病院の件は医療の改定、医師不

足など大変困難な時代を迎えており、救急医療、小児科、産科など不採算部門を担っており重要な政策的医療の提供に貢献

をしていると考えている。民間委託に移管は大変厳しいと思い現段階では考えていない。

答

(今村教育長)

十九年度に幼児教育及び幼稚園のあり方に関する審議会を設置して今後取り組んでいきたい。

ETC専用インター設置と南北道路整備は

問

長崎自動車道小城パーキングからの専用インター設置について、小城市の観光誘致など非常に必要と思うが現在の進捗状況は、また小城市の南北道路整備の考

えは。

答

(江里口市長)

私自身が平成十八年度重点実施計画にあげ

ているわけで、まず基礎調査をし費用対効果を試算して基準をクリアした場合に勉強会、協議会を立ち上げる手順になっている。十九年度には協議会の設置までできるんじゃないかと考えている。小城市の南北道路整備は十九年度に戦略戦術をしつかり持つて利便性のある小城市の道路計画の中に入れていきたい。

江島佐知子 議員



わかりやすい市政運営を

問

小城市総合計画がまとめられ「和で織りなす美しいまち」を目標に一定の方向性が定

答

(江里口市長)

①達成年度や数値目標を設定し、事業評価を体系的にわかりやすく市民に公表し検証すべきでは。
②外部評価の導入についての考え方は。

答

(永淵総務部長)

①行政評価は十九年度から導入、透明度の高い行政をやっていく。八月ぐらいに市報やホームページで公表する。
②庁議で評価し市民の意見を求めるが、外部評価は考えていない。

問

内容の充実した青少年健全育成事業を

今後青少年健全育成事業に力を入れ

答

(江里口市長)

①十九年度は野外研修センター、川内分校の一部改修を計画。今後も年次計画を立て既存の施設利用の便宜を図る。運動公園跡地も自然、歴

点に、人材育成に努めている。
④協働として我々のパートナーシップとしてお願いする部分では、各種団体などと連携のもとに協働していきたいと考えている。

史を生かしたエリアとして利用したい。
②地域教育力再生プランによる子ども居場所作り事業が各地域で取り組まれている。小城市の豊かな自然を生かした団体生活や自然体験、三世代交流事業などを充実する。
③婦人会、育友会、文化連盟、老人クラブ、ボランティア、高校生、地域まちづくり団体などと協力しながら地域の子として育てていく必要がある。



▲川内分校での天山ものづくり塾の青少健活動

その他、DV対策について、市職員の対応や研修について質問しました。

深川 高志 議員



行財政改革の取り組み

問

小城市の行政改革の基本目標は効率的な行財政運営のまことという目標であることから

答

(江里口市長)

次の事について質問する。
①平成十九年度の予算編成の考え方。
②事務事業評価制度の導入について。
③職員の意識改革について。
④パートナーシップの考え方について。

健全化計画、定員管理適正化、行政評価、さらに人事評価やアウトソーシングなど、小城市改革プランに即した取り組みを実施。
②事務事業そのものが何のためか、目的、手段として効果が検証できるマニュアルを持つて、評定し次年度の事業にどのよう

小城市民の健康づくり

問

小城市基本構想の中において、「健康福祉日本一を目指すまち」とあることから、健康つ

答

(古川福祉部長)

①早朝発見、治療ということを目的に実施し、診断後の指導体制も個別相談、生活改善、今後の目標設定などについても支援している。

答

(梅崎市民部長)

②栄養士を診断結果説明会なり、各種健康教室食生活改善講習会などに配置し、具体的な食事や生活習慣などについて支援を行っている。
③人間ドックの対象者を四十歳から七十五歳と少し幅を広げて対象者を増やすことを現在検討している。脳ドックについては現在実施していない。

松尾 義幸 議員



段階的に条件付
一般競争入札へ

問 小城市における入
札制度について三
点質問する。

①指名競争入札を廃止し

て、地域要件で条件付の
透明性の高い一般競争入
札を行うこと。

②小城市における最近
三カ月の工事請負契約の
平均落札率について。

③一千万円以上の入札結
果を市報「おぎ」に落札率
を含めて公表すること。

の見直しをする。

②土木工事の入札率は、
平成十八年十一月、二十
七件で九十四・五三%。

十二月、三十四件で九十
四・三%。十九年一月、
十五件で九十四・五六%。

③市報にスペースがあれ
ば情報を公開したい。

答 (江里口市長)

①すべて条件付競
争入札を実施すること
は、現在の体制では無理
があり段階的に入札制度

問 平成十八年度干潟
体験場・棧橋改修工
事は、予定価格八百五十
三万円。ホームページに
掲載されたのは、四業者

が入札し第一回目で八百
七十三万円。これが本当
であれば入札失格である。
予定価格は、消費税を含
めて八百九十五万六千五
百円と書かれており、予
定価格の八百五十三万円
がどこにも明示されてい
ない。八百七十三万円と
入力したらパーセントが
出るようにプログラムを
組めば、一〇二・三四%
となり、入力の間違いに
気付く、そういう仕組み
を作ったかどうか。

金原 修光 議員



豪雨災害に備え
た危機管理体制

問 避難勧告や指示が
遅れ、人的被害が
生じた自治体もあるが、
市職員の危機管理意識、

時間外登庁など体制は万
全か。

また要援護者の名簿を
作成し、支援マニュアル
を整備すべきだ。

答 (江里口市長)

四月から副市長に
危機管理を担当させる。

答 (永淵総務部長)

警報発令で、各町
出身の庁舎へ当番の班が
登庁する。体が不自由な
方、市内四十七人おられ

る。要援護者マップ(台
帳)は、十九年作成予定。

問 総額八億円で防災
行政無線の工事が
行われる。小・中学校給
食施設など急ぐ整備があ
る中、リーダーとして、
「ちよっと待てと感じる
センスが大事では。」

答 (江里口市長)

国から合併補助金
の前倒しの打診があつ
た。合併特例債を利用

し、一般財源を少なくと
の考えで決定した。

市内四カ所の図書館

問 小城館・三日月館・
牛津分室・芦刈分
室があるが、牛津分室を
「セリオ」内に開室する
ことで、相乗効果を期待
しては。また、桜城館内
の小林梧竹作品は、約四
百点以上保管されている
が、梧竹生誕地としては
展示場規模が小さい。展

答 (江里口市長)

示場の拡大を考えるべき
だ。自動車図書館「本丸
くん」は地域で好評を得
ている。一台増車する考
えは。

答 (江里口市長)

ホームページの入
力システムは、しっかり
チェックさせ、また間違
いのないような入力の方
を再構築したい。

答 (北島産業建設部長)

今、議員から提案
されたやり方は、非常に
すぐれたものだと思う。
そういうことができれば、
すぐやりたい。

えていない。

営繕係の新設

問 市の公共施設は百
三十カ所。毎年維
持管理費が掛かる。各施
設をチェックする営繕係
新設をどう考える。

答 (今村教育長)

補修管理は、管財
係が対応、それ以外は専
門業者に任せていく。



▲台風13号で折れ曲がった棧橋

岸川 英樹 議員



答 (今村教育長)

問 芦刈町の学校改築計画は
改築の年度は何年ごろ計画をしているのか。

老朽化による芦刈小学校の改築、耐震補強を含めた中学校の大規模改造。また、芦刈幼稚園についても、老朽化している。十八年度に、施設整備計画の検討がなされ、今後、施設整備計画を策定することとなるが、他の大型事業との財政面での調整を図る必要がある、まだ決定していない。

答 (江里口市長)

特に芦刈については、幼稚園、小学校、中学校が同じエリアの中に集合しており、小中一貫、あるいは幼、小、中一貫という形が将来的にもいいのではないかと考えていきたい。

問 学校給食センター建設は。

答 (江里口市長)

現在、小城市のみセンター方式で運営している。



▲整備が待たれる芦刈小中学校給食室

農業を元気に

問 農業を元気にする生産基盤整備の取り組みは。

答 (江里口市長)

基幹的整備は、国営総合農地防災事業、県営クリーク防災機能保全対策事業などがある。関係機関との連携をとり、事業負担金を計上し、国、県の事業を推進し、市営補助事業と合せて、

単独事業を実施し、小城市内の生産基盤の整備を図っていききたい。平成十九年度からスタートする、農地・水・環境保全向上対策に積極的に取り組んでいく。現在、生産基盤整備の要望が百二十五件、概算で十三億六千万円要望が上がっている。年々の財政状況を見ながら、補助事業や単独で取り組めるものは予算要求をしていきたい。

三根 實 議員



夕張の轍を踏むな

問 地域の予算の分捕り合戦になるようなイベントの存続はどの意味もない。お金が潤沢にある時代じゃない。三

答 (江里口市長)

日月でふるさと祭り、一週間後には牛津で産業まつり、補助金に依存しているようなイベントを営々と続けていくことが小城市のためになるのか。夕張の轍を踏む必要はない。見直しを図るべきだ。

トのあり方など十分検討していく。

わずか千億円、しかし千億円

問 平成二十三年供用開始の、筑後川下

流土地改良事業、七割以上の集落の同意が必要だが、異常気象で凶作続きのときに、反当り、千億円の負担金、この事業に對しもう少し負担金の緩和が考えられないか。ま

た進捗状況は。

答 (江里口市長)

この事業は、佐賀、多久、小城市の、百十集落が一体となって取り組む必要があるが、今、三十七集落の同意を得ている。同意率にして三十八・五％、大変厳しい状況にある。反当り千億円の負担というのがネックになっているのも事実だ。負担金については、ずっと協議を重ね、大分

格差をなくせ

問 牛津町の個別排水事業は合併浄化槽

の埋設、維持管理を公費で賄っている。他三町で合併浄化槽を個人で管理している人との格差解消のため、すべて市が管理をするべきと指摘したが、その後の取り組みは。

答 (江里口市長)

すべて市が維持管理を行った場合には、機器の効率性、人件費の問題で逆に経費が高くなるので、大変難しいと考えている。合併前の事業は引き続きやっていき、今後の下水道事業の中で見直していく。

市丸 典夫 議員



**体育協会法人化
がめざすものは**

問

十九年度予算に千七百七十万円という金額が体育協会に補助金として計上されている

る。主要事業説明書によると二十年度も同額の補助金を計画されている。執行部からは、体育協会が法人化することにより、社会的な地位が向上し、信用性も確立されることから、市からの受託事業、四町にある体育館などの管理運営などによる自主財源の確保が可能になり、官主導型から市民による運営へと変わっていくものと思われるというような説明を受けて

答

(江里口市長)

た。それからすれば補助金は年々減るべきと考えるが、今後二十一年、二十二年と補助金はそのままいくものなのか、それとも減額になっていくのか、増額になっていくのか。

問

今回、法人化するにあたり、スポーツ助成金として、一戸から百円の徴収をお願いし

答

(江里口市長)

たいと各区長に通知されているが、本来なら市長、また執行部は、住民負担を極力抑え、できれば削減するようなことをやるのが務めではないのか。



▲観桜大会での少年野球大会

この他に、小城町公民館各支館の管理人廃止について質問しました。

合瀬 健一 議員



**樹園地に対する
イノシシの被害対策は**

問

みかん及び水稻の被害が小城市で約一千三百万円、十八年度推定で見込まれている。

また、イノシシの有害駆除の捕獲頭数は十七年度は小城市で百四十一頭であったのが、十八年度では三百五十三頭と倍以上にふえている。これはイノシシの頭数がふえていると思わねばならないし、水稻やみかんの被害が拡大する恐れがある。これを踏まえ、県は第十次鳥獣保護計画の中でイノシシの被害防止対策を打ち出しているが、市としての対応策はいかがか。

答

(江里口市長)

猟友会の協力で捕獲は増えているが、猟友会員の高齢化などにより会員が減少している。今後は捕獲従事者の育成が急務となる。新規事業として、捕獲免許試験費の助成を計上している。

問

県の対策の中に耕作放棄地の発生を防止するという項目がある。荒廃樹園地を放っておけばイノシシのすみか

答

(江里口市長)

となり被害が拡大する。この荒廃樹園地対策は。

**三日月町に於ける
福祉バスの将来は**

問

三日月町の福祉バスは現在、ゆめりあから四路線運行されているが、ほとんど乗客が乗っていない状況である。市の財政も厳しい折、何か他の方法でやる事はできないのか。

問

コミュニティバスの運行は四回であるが、各庁舎で用事を済ませるまで、例えば二十分待っているのか。

答

(永淵総務部長)

各バス停で待ち時間の設定はしていない。

香月チエミ 議員



老人医療費の抑制を

問 市の高齢化率二十・八％。老人保健特別会計約五十一億、一般会計から約四億円の繰り入れがある。必要な

医療は確保しつつ医療費の伸びの適正化を図ることは、すなわち高齢者が地域で健康に過ごす体制づくりとして大変重要である。増加の要因と地域固有の特徴は。

答

(江里口市長)

一人当りの医療費総額は四年間で十五・二％の伸び。市内や近隣に医療機関が多く受診しやすいこともある。高血圧、糖尿病など生活習慣病に

堤 謙太 議員



小城市の安全・安心は

問 指定避難場所の耐震性・安全・安心の確保はされているか。

災害時の高齢者・障害者などの弱者・外国人に対

答

(江里口市長)

指定避難施設は、三十九カ所で、自主避難所の四施設は安全・安心・耐震性は満たしているが、その他の施設については耐震性の安全は満たしていない。

施設などの自主避難時には行政と地域が協力して行えるようにし、自主防災組織の結成に向け新年度中にマニュアルを作

関する受診が七十％占める。

問

病院の待合室のサロン化の防止はできないか。十回の受診を一回減らすと一割削減できる。そのためにシニア

世代の健康づくりプレイヤーリーダーを嘱託職員として市が雇用し、一人四、五集落担当してはどうか。

答

(古川福祉部長)

老人クラブや社会

成したい。

問

避難場所での非常食・毛布などその他の備蓄は。

答

(永淵総務部長)

新年度に水六リットル入を六百本、非常食を一千食、毛布を一千枚などを備蓄していきたい。

問

災害時のサイレンの音量・個別受信器の設置・難聴地区での

福祉協議会等と連携し、各種講座、ふれあいサロンなど高齢者の居場所づくりに取り組んでいる。



▲ふれあいサロンで今日もいきいき

防災無線の整備は。

答

(永淵総務部長)

基地局(牛津庁舎)の老朽化及びデジタル化への整備、公共施設、山間部への個別受信器を設置していく。災害時のサイレンの音量・放送については広域消防局と協議をしていきたい。

問

自主防災訓練の予定はあるか。

図書館、児童センターをまちづくりの核に

問

オープン以来、住民に快適な空間の提供を続け、今や小城市の宝ともいうべき文化福祉施設に成長している。今後いっそう子どものため、公共のため、市全体としてその特性をどう活かしていくのか。また、いつでもだれでも気軽に利用でき、既存施設の連携、機能の向上、交流が

答

(江里口市長)

旧三日月町ではドウイング三日月周辺を文教の核として、市民からも非常に大切にされているところであると思う。現在、都市計画マスタープランを策定中だが、しっかりとした位置付けを都市計画の中でやって、運動施設も計画すべきだと思う。

答

(永淵総務部長)

訓練は県と合同で五月二十七日に祇園川上流の急傾斜地の土砂災害を想定して訓練を行う。

他に消火器などを使った初期訓練もやっていく。



▲防災無線のサイレンの音量は大丈夫か

高木 一敏 議員



表も裏も市民の内面も美しく

問 小城市の総合計画が、九百六十四万円をかけてでき上がったが、説明会の時に絵に描

いた餅にならないようにしっかり取り組むと言われた。基本目標に、「和」で織りなす美しいまちとあるがどんなまちをめざすのか。

答 (江里口市長)

市民一人ひとりがお互いに相手を大切にし、協力してつくり上げる事をめざしている。小城市は自然環境が豊かで景観的にもすぐれていると思う。表も裏もしっかりと

職員の研修会は市民のため

問 組織を動かすのは人である。人事評価には、公平、平等を念頭に入れた評価が必要である。権力を持つと、おごりやたかぶり、ごう慢になりやすい。職場のミスマッチをなくす事は難しいと思うが。三百五十

りした本物のまちづくりをイメージしている。

答 (江里口市長)

人というのは、全く同じ性格、能力はないと思う。適材適所の配置が大事だ。職責に応じた役割や評価項目、評価方法を外部の講師を交えて、市民のため、市民から信頼される職員の意識の向上に繋がる研修会となると思う。評価は管理職が行う。

万円もかけての研修会はどのようなものか。

給食費の未納増どうする

問 食は生命の元である。最近食育の文字が目につく。どう考えているのか。また、学校給食の未納金が、昨年一年間で、全体の二%で金額でも四百六十二万円と、佐賀市、唐津市よりも率も金額も上回っている。十八年度の二月末で五百五十九万円が未納となっている。どのような取り

答 (今村教育長)

組みを考えているのか。現実的な実態を厳しく受け止めている。学校、育友会、PTAとじっくり話し合って徴収方法を考えたい。

この他に防災行政無線の整備に約七億円もかけて更新することについて質問した。

岸川 弘文 議員



品目横断的安定対策事業は大丈夫か

問 新農業、農村の大地利用型農業として成功すると思えるのか。また

土地利用集積の手段として奨励金制度の創設、大型機械導入制度の条件緩和、生産性向上対策として水田乾田化対策を展開すべきと思うが。

答 (江里口市長)

他国との競争力強化の中で生産力を強固なものにしていくため、経営の大型化、集約化を図り認定農家、集落営農によって振興していくよう自治体も精一杯努力する。

答 (北島産業建設部長)

農地の流動化対策として、六年以上の貸し手借り手へ小作料の二分の一、三年以上六年未満は三分の一の奨励金助成。条件緩和は、国の制度があり現時点ではできない。また乾田化対策は、要望が多ければ検討していく。

危険な水防箇所

問 水防計画書で一級河川牛津川での重要水防箇所が十カ所ある。危険な箇所はどこか。またその要因と対応は。弱者への情報は、迅速に伝達すべきである。

答 (江里口市長)

危険と言われる区域は、牛津江川合流地点のJR橋付近で泥土の堆積によって通水断面不足



▲しゅんせつが急がれる牛津川鉄橋付近

答 (永淵総務部長)

避難場所は、防災マップ、防災行政無線、市報等で周知しているが、今後のマニュアル作成の中でその手段について検討する。

答 (松本教育次長)

老人大学、婦人会、分館長会等々の会合の折、災害時の制度のPRに努めてまいりたい。

堤 克彦 議員



実効性は。

答 (江里口市長)
小城市の望ましい

環境の保全、快適な住環境の創造及び地球環境の保全に配慮した各種施策の推進を図る。

小城市総合計画基本構想について

問 特性二「天山から佐賀平野、有明海まで優れた自然環境・景観を誇るまち」の考え方、

天山から有明海までのすぐれた自然や貴重な歴史文化を有するまちとして、景観を重視した特色あるまちづくりを進めるため、美しい町並み景観づくりなど景観施策を総

合的、計画的に推進する。

問 特性三「歴史的街並みをはじめ、有形無形の貴重な文化遺産が息づく歴史ロマンのまち」の考え方、実効性。

つかのゾーンに分け、それぞれに散策コースを設定し、ゾーンごとに統一したデザインの案内板、説明板の設置をする。

答 (江里口市長)
小城市「屋根のない博物館」構想に基づいて、市全域を博物館ととらえ、文化財を一体的に整備、活用していく。市の歴史文化財に応じて幾

温泉活用に、民間の発想や開発を含め、民間による指定管理者制度の導入を模索している。

問 政策三「健康・福祉日本一を目指すまち」の考え方。

社日本一を目指すまち」の考え方。

答 (江里口市長)
「子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち」をキーワードにして、子育て支援、幼児教育、

底で代替できる。今後でも集団でフッ素洗口を行うつもりか。

集団洗口はやめよ

問 フッ素洗口は賛否両論あり、小城市は保育園八施設と幼稚園五施設、芦刈小の一箇所でやっている。

ところが、フッ素洗口の芦刈小と他の小学校の虫歯処置割合は学校平均でも、ほとんど違いはない。虫歯予防はブラッシングとフロッシング(糸ようじ)の励行など生活指導と口腔衛生教育の徹

学校教育の充実を実現。少子高齢社会を背景とした子育て支援の充実是国家的な施策課題であり、子どもの保護者や家庭を行政や地域が支えていくシステムづくりが重要。

ふるさと祭り中止か

問 合併して、十七年度は小城市、十八年度は三日月で開催、十九年度は牛津、次年度は芦刈。減額どころか予算化

市内四町を巡回する考えだったが、今年度は牛津ということで、産業まつりと二週続けての開催になり、休止とした。どういうふうな祭り、規模、期間、そういった意味を含めて、今後の検討課題とする。

答 (江里口市長)
市内四町を巡回する考えだったが、今年度は牛津ということで、産業まつりと二週続けての開催になり、休止とした。どういうふうな祭り、規模、期間、そういった意味を含めて、今後の検討課題とする。

授業配分などの整備をしている段階である。

諸泉 定次 議員



どうするアイル基金

問 アイルの維持管理費は、他の保健福祉センターより突出している。利用料金収入は毎年減り続けている。温泉

事業は金がかかるが維持費と他の施設にない二億円の基金の位置づけは。温泉を民間開放すれば、税金も入る。今後直営でやるつもりか。

答 (江里口市長)
基金は多大にかか

る温泉設備やその他施設の維持管理に処するたため条例化しており、一部取り崩して温泉設備等を計画している。

議員指摘のすばらしい

答 (古川福祉部長)
平成十七年度の維持費は、委託料約三千三百万円、光熱水費で三千万円、燃料費二百万円、内部等の改修で七百万円、蓄熱等で三百万円の合計約七千五百万円である。

基本的にはやる立場。ただ養護教諭の職務内容が多岐であり、また、学校の中の集団ではミスが起きやすい。歯科衛生士を配置できるのか、学校

答 (今村教育長)
基本的にはやる立場。ただ養護教諭の職務内容が多岐であり、また、学校の中の集団ではミスが起きやすい。歯科衛生士を配置できるのか、学校

その他、子どもサポーターの充実について質問しました。



▲給食あとの歯みがき

上瀧 政登 議員



問 牛津中学校の建設はいつから

古くなった牛津中学校の建設について、いつからどのような方針で進めていくのか。



▲牛津中学校

答 (今村教育長)
十九年度に基本設

計と実施設計を行いたい。設計は牛津町の時の基本構想、計画にもとづいて作業を進める。

特徴としては、教育内容の充実や特色ある学校づくり、地域に根ざした生涯学習の場として考えている。給食室は設けないうで、センター方式による配食を牛津中学校完成時を目標に展開したい。工事などの発注は条件付の一般競争入札を考えているが指名委員会で検討していく。中学校の建設費には、一般財源、国からの交付金、合併特例債などで対応する。

完成後の通学範囲は現行のままとして、そのニーズが起きた時には、通学区域審議会を立ち上げて検討する。

新幹線西九州ルートで牛津町はどう変わる

問 整備された後に西九州にどれだけの

化マスタープランの作成で市の考え方は。

答 (江里口市長)
中心市街地活性化基本計画の策定をめざす。当面は、まちづくり交付金事業などを含めて検討する。

具体的 な取り組み事項や数値目標を定め改革を推進する。財政健全化計画は歳入をいかに確保し歳出をどう抑制するかが課題。市税や国保税の徴収率向上が急務である。歳出抑制対策として人件費の削減により着実に定員適正化計画を行う。

下水道のエリア外の対応は

問 公共下水道、農業集落排水事業の工

答 (北島産業建設部長)
エリア外は門前地

答 (江里口市長)
エリア外は、合併浄化槽になると思う。公共下水道整備完了後、不公平感が出てくると思うので、個別排水の観点から十年か十五年後ぐらいで整備していきたい。

リア外の市民への対応と考えは。また、地区対象軒数は。

問 エリアを定めたのは行政である。早急に整備をすべきでは。

答 (江里口市長)
早急には厳しいが、エリア外の事業は個別排水で対応すべきと思う。

区、晴気、岩松の山間部、芦刈の杜搦など四百二十八戸。

中島 正樹 議員



行政改革大綱・現状と今後の具体策は

問 「薫風新都」みなでつくる・笑顔あふれる小城市」を将来像とし、均衡ある発展

答 (江里口市長)
平成十七年度に行

行政改革大綱を作成、二十一年度までの改革実現をめざす。財政運営の改革、定員管理及び市民協働に関する事を重点目標にし、

小城市のまちづくりは

問 平成十九年度事業の中心市街地活性

平野 泰造 議員



元気産業のまちづくり

問 小城市の基本構想
の中の交流と連携

による質の高い元気産業のまちづくり、これは、市長公約の「ふるさとプラ

答

(江里口市長)

①農業振興は認定農家や営農組織を育成し農産物のブランド化、加工、特産物の開発や減農

ンづくり」と大部分重なり、っており重点実施計画として位置づけられている。
①農林水産業の振興は。
②商工観光の振興は。
③農林水産業と商工観光の連携は。
以上三点について市長の考えは。

薬、減化学肥料栽培を推進しエコファーマーの育成を通じ環境保全型農業を進める。森林の振興は、森林の持つ多面的機能の高度発揮に向け、林道、作業道の整備を行う。市民や関係者の意識の高揚を図り下流住民の方々の協力を得、植林も行いたい。水産業の振興は、ノリ養殖と漁船漁業を組み合わせた周年操業体制の確立を基本に漁港や漁業関連施設の充実を

問

農地、水で地区の線引に困難な面での市職員の協力は。昨年

答

(北島産業建設部長)

の台風で漁船被害がでた。その避難対策は。荷揚げ桟橋に浮泥がたまり一部しか機能していない。四六時中発着が必要。芦刈全体が一カ所で利用できる桟橋の建設は。

答

(江里口市長)

河口堰上流に避難された船は被害はあっていない。河口堰上流への要望は精力的に行う。

▲浮き桟橋建設中の新有明漁港（白石町）

今村 昌幸 議員



本庁方式による効率的な行政運営を

問 合併の確認事項、
本庁方式への移行

は、行財政の改革、住民サービスの向上を図るた

答

(江里口市長)

め、その実現は大変重要不可欠である。先の質問で二案に絞って方向性を示すと答弁されたが。

確認事項を尊重し、早い時期の移行が必要と考えていた。庁舎は既存庁舎の場所を増改築、それ以外の場所に新築の二案に絞り委託業者による専門的な立場から地理的条件や総合計画の整合性など、現地調査、

将来を見据えた利便性、水害等の危機管理等々、また場所はどこが一番よいか事業費を含め検討をいただいた。
基本的な考えとして、既存庁舎を利用する考えである。

的にも本庁として不可能ではないか。市の将来像に照らし既存庁舎外の方がよいのではないか。財政的にも建築費を含め効率的であり恒久的な建物で償還負担を含め後世にも説明責任が十分できると思うが。

問

専門的な委託業者の構想・懇話会の意見などが尊重されていない。既存庁舎の場所では、耐震構造、危機管理、土地利用を含め物理

答

(江里口市長)

基本構想では、将来的・事業費的には新築が効率がよいとあるが、既存庁舎を利用した中で

問

合併後、二年もたつての発表で、これからが大変であり課題も多い。財政、特に土地利用、危機管理などさらに議論を重ねて、めざす将来像の「薫風新都」真に小城市にふさわしい、また市民が納得できる本庁方式の実現を。

答

(江里口市長)

十九年度に現庁舎を利用した、住民サービスがワンストップでできる、本場に合併してよかったと思えるような、しっかりと形にした計画をつくりたい。



議員活動あれこれ



1月 食育推進公開サミット（武雄市）



2月 小城幼稚園落成式（小城町）



3月 ムツゴロウ王国夜なべ談義（芦刈町）



3月 小城高校甲子園出場応援（兵庫県）

樋渡 邦美 議員



企業誘致による
若者などの雇用
の確保を

問 企業誘致について
は将来の若者たち
が定住できる地域づく

答（江里口市長）
企業誘致係の活動
状況は問い合わせなどが
三社そのうち二社は用地

り、ひいては市の自主財
源の確保、また小城市総
合計画に基づく定住人口
の確保に必要な、かつ重
要な施策だと思うが、十
九年度当初予算では何ら
予算上手当てがなされて
いない。また昨年四月に
企業誘致係を新設したが
取り組み状況は。

答（北島産業建設部長）
現在では即戦力工業
用地ということで、現在
民間の遊休地とか、会社
があったところを県の方

問 市内に受け皿づく
り、工業団地の計
画を早急に整備する必要
があると思うが。

を見ていただいた。今後
は即戦力用地という形で
候補地を選定しながら進
めたい。

答（江里口市長）
企業誘致と雇用は

問 この四年間、小城
市には県外からの
進出企業が一社もない。
条件整備をし企業誘致に
取り組みなければ市の人
口も減少し、少子・高齢
化時代に突入した今、若
者たちが少ない小城市に
なりはしないか。

に登録して誘致に動いて
いる。

J R 唐津線安全
対策は

問 小城市には長崎本
線に十六の踏切、
唐津線には二十の踏切が
あるが踏切対策について
どうなのか。

小城市の交通体系上、
もう一度、市内すべての
踏切を検証すべき。特に
土生、戊線の踏切、また

一体的なもので精一杯十
九年度も取り組む。

答（江里口市長）
J Rとの協議では

戊一号線の踏切について
は非常に危険が予想され
る現状であり、通学路と
して歩道部分が踏切で切
断されている現状である。

極力唐津線の踏切はなく
していくという方向性を
持っているということだ
がある。唐津線活用、電
化促進期成会の中で踏切
の廃止なしでどうできる
のか確認していきたい。